

# 章魚の足

夢野久作

青空文庫



「<sup>たこ</sup> 風屋の店にいろいろ並んでいる<sup>だるま</sup> 風の中で、達磨と章魚とが喧嘩をはじめました。

「ヤイ達磨の意気地なし。貴様は鬚なんぞ生やして威張っていても、手も足も出ないじゃないか。俺なんぞ見ろ。こんなに沢山イボイボの付いた手を八つも持っているんだぞ」

「そんな無茶を言うものでない。お前も坊主なら乃公<sup>おれ</sup>も坊主だ。坊主同士だから仲よくしようじゃないか」

「おれが貴様みたような奴と、手も足もないヌツペラボーと仲よくするものか。喧嘩すりやあ負けるものだから、そんな弱い事を言うのだろう。態<sup>さま</sup>を見ろ、弱虫奴<sup>め</sup>」

とききなりその長い八本の足で達磨を蹴り飛ばしました。達磨はたいそう口惜しく思いましたが、手も足もないのでただあの大きな眼玉から涙をホロホロ流して蹴られています。

傍にいた奴<sup>め</sup>が大層気の毒がって、

「章魚さん、もう喧嘩はおよしなさい」

と仲裁しました。

すると章魚は、

「お前なんか黙っておれ」

と言つて又蹴りつけました。奴も怒つてはみたが、これも手が袖から出ず、足も二本しかないので、じつと堪こらえていました。

翌朝、太郎、次郎、三郎の三人に三つともそれぞれ買われて、原に連れて行かれました。そうすると太郎さんの達磨も次郎さんの奴も、元氣よく高く高く揚りました。しかし三郎さんの章魚は長い足が櫂けやきの枝に引つかかりました。そして三郎さんが無理に引つ張つたために破れて仕舞いました。その時章魚は、ああ足がなければよいと思ひました。

# 青空文庫情報

底本：「夢野久作全集」三一書房

1970（昭和45）年1月31日第1版第1刷発行

1992（平成4）年2月29日第1版第12刷発行

初出：「九州日報」

1922（大正11）年11月20日

※底本の解題によれば、初出時の署名は「海若藍平」です。

入力：川山隆

校正：土屋隆

2007年7月21日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 章魚の足

夢野久作

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>